

1. 日時：2012/1/13(金) 15:00-17:00

2. 場所：BCAO 日本橋事務所

3. 進行：市川座長 (レスキューナウ)

4. 記録：議事録>村田 (富士通 FIP)

5. 出席者 (7名：敬称略・順不同)

市川 (レスキューナウ)、橋元 (清水建設)、野田 (アジア航測)、村地 (構造計画研究所)、森下 (東急建設)、大島 (富士通マーケティング)、村田 (富士通 FIP)、

6. 実施内容

(1) アクション項目別フロー図 (a29、a30) の検討、確定

「a29:重要資産の保全・持出し」－橋元 (清水建設)

- ・ アクション主体は「a27」と同様「現地社員対応者 (自衛消防隊等を含む)」とする
- ・ インput情報に「i60: 消火・救護・避難活動と 被害の状況」を追加、Excel 表もあわせて修正済み
- ・ 「i63:重要資産の保全基準」の FROM が未設定であったため、現地対策マニュアルを参照することとする (Excel 表もあわせて修正済み)
- ・ 「i64: 重要資産の保全・持ち出し結果」のアウトputの宛先は「災害対策本部」とする

「a30:現地対策本部の設置」－村地 (構造計画研究所)

- ・ アクション主体は「a5: 対策本部の設置」と同じ「現地対策本部 (緊急対応要員)」とする
- ・ 「i11: 安否確認集計結果」、「i59: 現地災害対策本部員のスケジュール」は削除。左記の情報に関わらず、現地対策本部は設置されるため
- ・ 「i66: 現地災害対策本部設置宣言」のアウトputの宛先は「現地災害対策本部」とする

(2) 話題提供

前半の討議に時間を費やしたので、予定していた「3. 11 以降の災害情報システムの動向」の議論は実施しなかった

7. 今後の予定

- ・ 次回のアクション項目別フロー図検討
 - 「a31: 現地指揮命令系統の確立」-(森下: 東急建設)
 - 「a32: 現地被害の収集 (分析・整理)」－ (市川: レスキューナウ)
- ・ 次回以降の「アクション項目別フロー図」の担当を以下の通り、割り振り。
 - 「a33: 現地通信・情報連絡手段の確立」-(東根: 環境研究所)
 - 「a34: 現地災害対応の意思決定」－ (杉山: 富士通 FIP)
- ・ 次回の情報提供「副島 (大林組)」
(仮題) 3. 11 おける地震の建物被害や建物からの避難の実態について

8. 次回研究会

- 日時：平成 24 年 2 月 17 日 (金) 15:00~17:00
- 場所：日本橋 BCAO 事務所

以上